

市民のみなさんへ

庄原市総領支所

行政文書の発行について

10月20日付けの行政文書を次のとおり発行します。

★ 回覧文書

表 題	備 考	担 当 課 等
市営住宅（公営住宅）入居者募集について		環境建設部 都市整備課
しょうばら脱炭素地域推進ニュース		環境建設部 環境政策課
ふろむざすいむ		教育部 西城教育室
庄原市上野総合公園だより		上野総合公園
国営備北丘陵公園イベントのご案内		企画振興部 商工観光課
庄原さくらスポーツクラブだより		教育部 生涯学習課
総合体育館だより		総合体育館
こっこだより		総領支所地域振興室 市民生活係
ひのき		総領小学校
校長便り		総領中学校
赤い羽根共同募金 チャリティーグラウンドゴルフ大会		庄原市社会福祉協議会 総領地域センター

★ 各戸配布

表 題	備 考	担 当 課 等
市民と語る会開催のお知らせ		議会事務局
秋の火災予防運動がはじまります		総務部 危機管理課
さとやま通信		総領自治振興区
身体と頭を使ってオニから逃げろ！ ミッションクリア型 逃走中		
お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方		
「そうりょう 日々 気かけあいこ」添付資料 【令和4年度 医療・福祉・保険の関係機関の紹介】		

<行政文書のお問い合わせ先>

〒729-3703

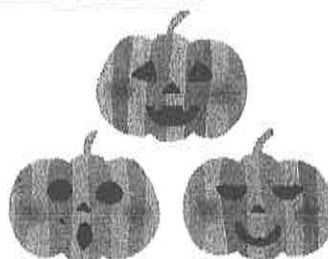
庄原市総領町下領家280番地1

庄原市総領支所総務室

電話番号：0824-88-2111

FAX番号：0824-88-2978

メールアドレス：soumu-sou@city.shobara.lg.jp





総領子育て支援センター

こっこだより 10月号

R4.10.20

総領子育て支援センター(保育所内)『あいあい広場』は地域の方々との交流の場、子ども同士の遊び場、悩み相談情報提供・交流の場です。

どなたでもお気軽にご利用ください。

☆開所日...火曜日・木曜日(祝日除く)

☆開所時間...AM9:00~12:00、PM1:00~3:00

《総領子育て支援センター》総領町下領家71番地

☎(TEL・FAX)0824-88-2701 ☎(携帯)090-3634-0353

✉(メール)cocco.2701@ezweb.ne.jp

ファミリーサポート受付窓口(火・木開設時間以外は総領支所へ)

《総領支所・市民生活係》総領町下領家280番地1 (TEL)0824-88-3063

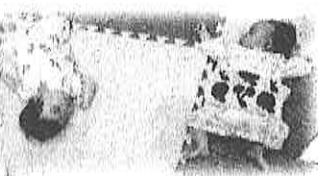
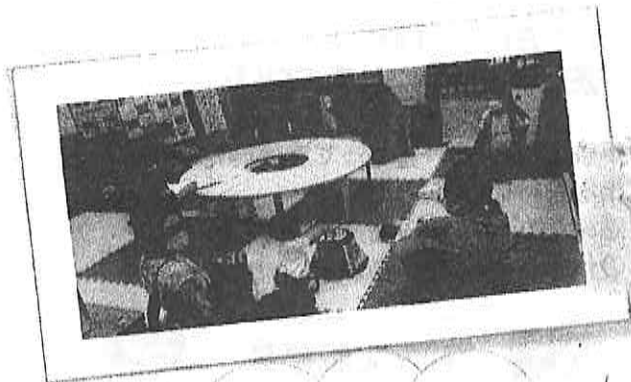
《庄原市総合サービス(株)》庄原市中本町2-13-24-(TEL)0824-75-0600

柔らかな秋の日ざしが降り注ぎ、少しずつ季節の変化を感じられるようになってきました。秋を告げるキンモクセイの花も咲き、きれいなオレンジ色と甘い香りが広がっています。

朝と昼の気温差が大きくなると、体調を崩しやすくなります。十分な食事と睡眠をとり、規則正しい生活を心掛けましょう。



活動の様子



9月13日に身体計測をしました。「おおきくなったね」と成長を喜ばれ、保護者同士の会話も弾む楽しい時間となりました。

9月22日

保育所のお友達と一緒に芝生広場に遊びに行きました。虫探しや追いかっこをして、体をしっかり動かして楽しむことが出来ました。



9月27日は美容とリフレッシュの日でいなかきさんに来ていただき、日頃の育児で疲れた身体をほぐしていただきました。ストレッチが終わるころにはスッキリされた表情で「気持ちよかった～」と喜ばれていました。



11月の予定

親子交流事業 おしゃべりあいあい

子育て相談 妊婦交流 すくすくたまご

○17日(木)・29日(火) いずれも10時～

いろいろな素材を使った 手作りおもちゃの紹介

空き箱やスポンジ、ビニール袋など、身近にあるいろいろな素材が子どもたちのお気に入りのおもちゃに変身です。
どこの家庭にもある材料でできる手作りおもちゃを紹介します。



サークル事業

○1日(火) 10時～

食に関する話 食をテーマにした絵本の紹介



子どもたちが喜んでみたくなる美味しそうな、楽しい絵本を紹介します。親子でゆっくりと絵本を見ながら「食」についてお話ししましょう。

○22日(火) 10時半～

美容とリフレッシュの日

いながきカイロハウス稲垣由美さんの来所です。肩こりや腰痛が改善できるように骨盤体操をして、しっかりと身体をほぐし、癒しの時間を過ごしましょう。

定期的なメンテナンス



○8日(火) 10時～

身体計測・育児相談

身体計測を行い、日頃の子育てについて困ったことなど気軽に相談してください。

9時～10時は子育て推進会議を行います。

子育て学習 すくすく

○10日(木) 10時～

正しい手洗いの仕方について

手洗いチェッカーを使って看護師が手洗い指導を行います。

感染症が流行る時期です。正しい手洗いの仕方をみんなで学びましょう。



地域交流事業



○15日(火) 10時～

ふらりへ行こう!

備北丘陵公園里山の駅ふらりの屋内遊具で遊びます。木のおもちゃや絵本などがあるので、親子でゆっくり楽しみましょう。

○24日(木) 10時～

図書館にお出かけしよう

総領自治振興センター内にある図書館に行きます。たくさんの絵本の中からお気に入りの絵本を見つけ、ゆったりとした空間で子どもさんと一緒に読んでみましょう。

上記の活動を計画していますが、新型コロナウイルス等の感染状況により、行事の変更をすることがありますので、その際には再度連絡します。
ご理解の程よろしくお願いたします。



ひのき

【令和4年度 学校教育目標】
やさしく かしく たくましい
総領っ子の育成
～ とともに学び とともに育つ ～

輝け 総領っ子

<令和4年10月20日 第11号>

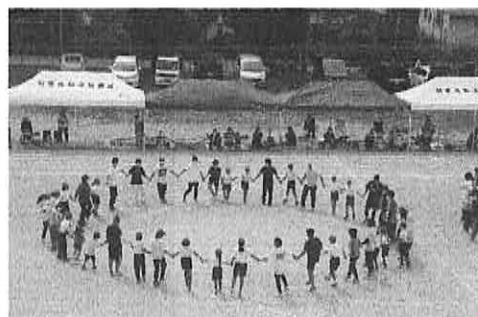
スポーツフェスティバルも無事終わり、10月の修学旅行（5・6年生）と社会見学（1～4年生）という大きな行事も無事終わりました。学校以外の場所で、先生以外の人から学ぶ貴重な経験をし、児童にはたくさんのお話を吸収して帰って来ました。まだまだ実りの秋は続いていきそうです。次はオータムフェスティバルだ！



心を燃やした スポーツフェスティバル！



3年ぶりの運動会も、秋に開催し、名称もスポーツフェスティバルにリニューアル。子供たちの意見をいかりながら、できるだけ役割をもたせ、自分たちで考え行動し、しかも体を動かすことの楽しさを実感してほしいという盛りだくさんの思いをのせて取り組みました。子供たちの姿はどう映ったでしょうか。保護者の皆様、お家の皆様、一緒に楽しんでいただけましたでしょうか。まずはその一部を紹介します。



今回のスポーツフェスティバルの大きなねらいは、児童が主体となって行事を創り上げ運営すること、そして何よりその主体である児童が楽しむことです。そんな姿をみられた家族の人は必ず、笑顔になり喜ばれるということです。しかし何しろ初めての取組で、児童も職員も試行錯誤の繰り返しでした。

これまでの入場行進をパレードに変え、選曲から歩き方まで子供たちのアイデアを基に決め、何度も練習して当日を迎えました。また、準備体操（整理体操）もラジオ体操をやめ、森川乃里恵さん制作の「モリモリ体操」にしました。各種目も児童のアイデアから決められたものが多く、まさにやってみながら変えていくというスタイルでした。終わりの種目も家族の方に出してもらい、一緒に楽しんでもらおうと綱引きや懐かしのフォークダンスなども取り入れました。特に、縁の下の力持ちとして高学年が地道な係活動を一生懸命やっていた姿はかっこよかったです。

最後に児童代表のあいさつがこの日のすべてを物語っていたので紹介します。

今日は、台風前の強風の中、無事にスポーツフェスティバルを終えることができました。優勝した白組の皆さん、おめでとうございます。

準優勝だった赤組も、みんなで協力し、がんばりました。

どちらの組も、みんなで力を合わせ、助け合うことができたと思います。

私は、今日が小学校最後の運動会でした。今年の運動会は、自分たちの思いを出し合い、創り上げてきました。その分、苦勞したことやうまくいかないこともたくさんありました。私たちのチームは、パレードの仕方や退場曲など、なかなか決まりませんでした。そんな時、みんながアイデアや意見を出し、お互いの意見を聞き合って、一つ一つ決めていくことで、どんどんチームが一つになっていったと思います。大変なことも多かったけど、みんなで考え創ってきたからこそ、最高の運動会になったと思います。

この経験を、今後自分の力にしていきたいと思います。

最後に、今日のスポーツフェスティバルのためにご協力してくださった先生方、保護者の皆さんにはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

児童代表 6年 黒木 真央香



花の寄せ植え体験をしました。

9月21日(水)、5・6年生が花の寄せ植え体験をしました。今年もしょうばら花会議の斉木さんの指導の下、自分の好みの花を5鉢選び、ポットの外し方、土の盛り方、花の置き方などを習い、手順よく行っていきました。キラリと個性輝く寄せ植えがしばらく玄関を飾ってくれます。



稲刈りをしました。

9月22日(木)、5年生が稲刈りを体験しました。これは春に泥んこになりながら田植えをしたものです。端っこを手で刈り、残りは機械で刈ってもらいました。今年のお米の出来は・・・



いじめ・体罰・ハラスメント相談窓口 毎月第3火曜日は「悩みごと相談日」

気づきやご意見または何か気になること、悩まれていることなど遠慮なくご相談ください。

【連絡先】0824(88)2016

【担当職員】教 頭 赤木 智香 生徒指導主事 下田 一輝 養護教諭 平川 千晶

生徒・保護者・地域の皆様へ

総領中学校 校長便り

学校教育目標

主体的に学び
心豊かでたくましい
生徒の育成

育てようとする資質・能力

- ①知識・技能
- ②思考力・表現力
- ③思いやりと協働性
- ④学びに向かう主体性

令和4年

9月30日(金)

総領中学校長

No.7

ブレないことと変化に対応していくこと

二学期が始まって、暑い日が続いていましたが、秋分を境にめっきり涼しくなりました。この時期は夏との別れを約束したかのように真っ赤な彼岸花が咲き、毎年のように秋の気配を感じさせてくれます。

地球温暖化が進み気候変動が著しい中で、昔から伝わる「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉は、今でもブレずに確かな存在感を示し、そして彼岸花はその時期が過ぎると役目を果たしたかのように姿を消していきます。いつの間にかいなくなった風景に寂しさを感じながらも、日本の四季の確かさと巡りくる季節にもなつかしい匂いを感じてしまう自分です。

さて、少し前のことで恐縮ですが、7月に2年生が職場体験学習を5日間行いました。コロナの影響で3年ぶりの実施でしたが、体験先を提供していただいた事業所様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

この職場体験学習はキャリア教育の一環として行っているものです。改めてキャリア教育とは何かというと、「将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成する教育」と言い換えることもできますし、もっと簡単に言えば「社会人として求められる資質・能力を育成する教育」と言うこともできます。では、なぜこのような教育が始まったのでしょうか。

私ごとで恐縮ですが、私は、1960年代に生まれ、1970年代に小学校を通過し、1980年代に大学を卒業し、1990年代に社会に出ました。義務教育を受けていた時代はいわゆる、高度経済成長期の終焉期(しゅうえんき)に当たります。この時代は、先の大戦に敗れ、多くのものを失った日本が、欧米社会に追い付け、追い越せをモットーに働き、その姿を「日本人は働き蜂のよう」とか、「他国のことは考えない集中豪雨のような輸出でのし上がってきた」とか、世界から散々なことを言われながらも、先進国に仲間入りしてきた時代です。

この頃、私世代が言われたことは、とにかくしっかり勉強して、いい高校、いい大学、いい会社、そうすれば、終身雇用が待ち受け、安定した生活が送れるというものでした。何がいい高校、大学かといえば、「偏差値」が高いということです。受験戦争という言葉もこのような背景から生まれたものです。大学卒業の頃は、バブル経済の絶頂期で、就職においても、1人に対して、何社も求人がくるという時代でした。

しかし、承知の通り長続きせず、バブルはあっさりはじけ、その反動は相当なものでした。当時で言えば、4大証券会社の山一証券や北海道拓殖銀行などの都市銀行が倒産します。こういう会社に就職すれば、「勝ち組」と言われて育った私世代にとっては、闇に入り込むような状態だったと思います。

そして、十数年後やっと少し立ち直ったかと思えば、世界を巻き込むリーマンショック。

ですから、キャリア教育が生まれた背景を簡単に言うと…

- ・子供たちが育ってきた環境が大きく変化した。
- ・そして、そのことが子供たちの成長・発達に大きな影響を及ぼした。

また、国（文部科学省）も示していますが、「子どもたちは、自分の将来を考えるのに役立つ理想とする大人のモデルが見つげにくく、自らの将来に向けて希望あふれる夢を描くことも容易でなくなっている。」

確かに、今は、ヒーローがいつまでもヒーローじゃない。報道番組を見なくてもネットやSNSを見れば、憧れていたタレント、歌手やスポーツ選手が薬物で逮捕されたとか。教師の不祥事だってそうです。熱心に教えてくれていた先生が突然いなくなる…。自分にとってのヒーローがいつのまにか犯罪者となる…。

今は、人を好きになるのも、尊敬するのも自己責任なのか…。

こうして考えると、結局は将来の子供たちに影響を与えた環境を作ったのは我々大人です。キャリア教育は、学校教育と社会との乖離（かいり）を教育者がもっと意識する必要があるということから提唱されたものです。

特に、「働く」ということに関してです。

キャリア教育は、“子供たちは将来働く”という大前提のもと、

「そのために、今は、こんな力を付けていないといけない。」という教育です。

個人的には、このことはとてもわかりやすいと思っています。

持続可能な社会にしていくには、子供たちは、将来働いて、親から自立し、家族を養い、納税者になってもらうということです。

以下は、職場体験学習を終えての生徒の感想を抜粋したものです。（原文のまま）

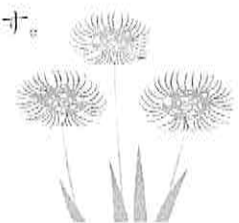
- ・仕事をするにはコミュカが最も大切なんだと思いました。5日間だけでも大変だったのに、ずっと続けられていてすごいいいと思いました。仕事はやっぱり大変だと思いました。
- ・失敗するのが怖かったから自分から仕事にあまり取り組めなかったけど、担当の方が失敗は恐れなくていいと言ってくだったので、これからは失敗を恐れずに取り組んでいけたらいいと思いました。
- ・今回の体験で自分の長所や短所が見つかりました。自分はテキパキ動くことができるけど、人とコミュニケーションをとることが苦手なので、これからは短所であるコミュニケーションをとることを長所として生かしていけるようにしたいです。
- ・体験を終えて思うことは、職場の方と離れるのがさびしいけど、素敵な体験をさせてもらったと思います。この5日間どうなるか不安だったけど、楽しかったです。
- ・人とのコミュニケーションは、しっかりできました。あいさつは、朝・昼・帰るとき、大きな声ではっきり言うことができ、この1週間で仕事の楽しさや大変さについて学ぶことができました。
- ・1週間を通して仕事の大変さを感じた。とても大変だった。
- ・基本的なルール（あいさつ・返事）の事から社会のルールについて学ばせていただいた。働くことの大切さややりがいについても理解することができた。
- ・職場の人から仕事の大変さについて知れたし、色々ためになることを学んだ。
- ・コロナということもあるのに、職場体験学習を受け入れてくださったことは本当にありがたいことだとわかった。

14歳（13歳）なりの感想です。

今は、これが正しいと言われていることも、10年度、20年後には、そうでなくなることもあると思います。

それでも、皆さんが今回の体験で感じ取ったことは、ずっと生き続けると思います。

これからも続く、変化に激しい世の中で、
ブレずに持ち続けていかなければいけないことと、
変化に対応できるしなやかさを持った大人に成長できることを
心から願っています。



2022 赤い羽根共同募金



チャリティーグラウンドゴルフ大会

スポーツの秋です。みんなで楽しみましょう。

～参加者大募集～

日時 11月2日(水) 13時30分開会(受付13時00分～)

場所 田総の里スポーツ公園 グラウンドゴルフ場

参加費 1,000円(募金400円・賞品、保険等600円)

申込み 10月31日(月)までに 総領地域センター

電話 88-2796 へお申し込みください。

雨天の場合 田総の里スポーツ公園 ゲートボール場

当日のボランティアを募集します。ご連絡ください。



★申し込み・問い合わせ★

庄原市社会福祉協議会 総領地域センター

電話 88-2796 FAX 88-2797